

2026年6月17日

第101期通常総代会の開催について

当金庫は、2026年6月17日（水）に第101期通常総代会を開催し、下記の事項を報告ならびに決議しましたので、お知らせいたします。

記

1. 2025年度（第101期）決算概要

(1) 業容

科 目	残 高	前 期 比
預 金 ・ 積 金	8,090 億円	79 億円増 (0.9%増)
貸 出 金	5,390 億円	358 億円増 (7.1%増)

預金・積金は、個人のお客さま向けに「100周年記念定期預金」等を販売したことや事業者のお客さまに決済機能の変更等を促進したことにより、期中79億円増加し、3期振りの増加となりました。

貸出金は、本業支援を起点としながら渉外活動の質と量の向上に努めたほか、ローンセンターによる住宅ローンの推進や非対面チャネルの活用等、お客さまの多様なニーズへ対応したことにより、期中358億円増加し、13期連続の増加となりました。

(2) 利益等

科 目	実 績	前 期 比
経 常 収 益	14,778 百万円	2,820 百万円増 (23.5%増)
実 質 業 務 純 益	1,475 百万円	373 百万円減 (20.1%減)
経 常 利 益	1,947 百万円	11 百万円増 (0.5%増)
当 期 純 利 益	1,607 百万円	242 百万円増 (17.7%増)
利 益 剰 余 金	48,937 百万円	1,499 百万円増 (3.1%増)

政策金利の引き上げに伴う貸出金利回りの上昇や積極的な推進活動による貸出金残高の増加により、3期連続で貸出金利息収入が増加したことに加え、有価証券利息配当金や役務取引等収益も増加した結果、経常収益は前期比2,820百万円増加して、6期連続の増収となりました。また、当期純利益は前期比242百万円の増益となる1,607百万円を計上し、2期連続の増益となりました。

なお、出資配当率については従来通りの4.00%を維持しました。

(3) 不良債権の処理状況

貸出金が増加したことに加えて、業況が低調な先への支援に取組んだ結果、不良債権額は前期比15億円減少の171億円、不良債権比率は前期比0.52ポイント低下の3.17%となりました。

(4) 自己資本比率（国内基準）

自己資本額が前期比2.1%増加した一方で、貸出金残高が伸長してリスク・アセット等も2.5%増加したことにより、自己資本比率は0.05ポイント低下の11.19%となりました。

なお、国内基準の4.00%を大きく上回っており、健全性に問題はありません。

2. 2026 年度計画

科 目	計 画
経 常 収 益	15,280 百万円
実 質 業 務 純 益	2,034 百万円
経 常 利 益	2,180 百万円
当 期 純 利 益	1,282 百万円

2026 年度においても、お客さまや地域の課題解決に向けた伴走型支援を実践し、地域金融機関としての役割を果たすことにより、預金・積金残高は 8,200 億円（2 期連続の増加）、貸出金残高は 5,590 億円（14 期連続の増加）を計画しています。また、経常収益は前期比 3.3% の増加（7 期連続の増収）、経常利益は前期比 12.0% の増加を見込む一方で、本店建替えに伴う解体工事引当金の計上等により、最終利益は前期比 20.2% の減少となる見通しです。

3. 最近のトピックス

2026 年 3 月 23 日（月）に矢野駅前支店を新築移転オープンしました。

「地元で愛されるまちかど信用金庫」をコンセプトとし、環境に配慮した木造建築を採用しています。木の香りが広がる開放的な吹抜けのロビーを設け、落ち着いた空間で皆さまに安らぎを提供するとともに、すべての窓口をローカウンターとし、お客さまが気軽に相談しやすい店舗としています。

今後も地域の皆さまへより良い金融サービスの提供に努め、地域に長く愛される店舗を目指してまいります。

<新築移転した矢野駅前支店>



<総代会の様子>



以 上